

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	太田市における人と自然にやさしい住環境計画（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	太田市												
計画の目標	早期に下水道処理人口普及率を向上させて生活環境の改善を推進するとともに、公共用水域への汚濁負荷量削減を図り河川等の水質改善に寄与する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,040	A	1,040	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画的成果目標（定量的指標） 定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		平成30当初	平成32年度末	平成34年度末
1	下水道処理人口普及率を46%（H30）から50%（H34）へ向上させる。 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口(人)/総人口(人)	46%	48%	50%
2	汚水処理人口普及率を89%（H30）から93%（H34）へ向上させる。 汚水処理人口普及率 汚水処理施設を利用できる人口(人)/総人口(人)	89%	92%	93%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H30	H31	R02	R03	R04					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
下水道事業	A07-001	下水道	一般	太田市	直接	-	管渠(汚水)	新設	中央第2処理区(西矢島1号幹線他)(A1-1)	200~250mm L=4,000m	太田市						246	-	-		
	A07-002	下水道	一般	太田市	直接	-	管渠(汚水)	新設	中央第2処理区(高林3号幹線他)(A1-2)	200~250mm L=3,500m	太田市							160	-	-	
	A07-003	下水道	一般	太田市	直接	-	管渠(汚水)	新設	西邑楽処理区(石原幹線他)(A1-3)	200~250mm L=1,200m	太田市							42	-	-	
	A07-004	下水道	一般	太田市	直接	-	管渠(汚水)	新設	新田処理区(A1-4)	200~350mm L=4,000m	太田市							575	-	-	
	A07-005	下水道	一般	太田市	直接	-	管渠(汚水)	新設	佐波処理区(A1-5)	200mm L=600m	太田市							17	-	-	
												小計						1,040			
												合計						1,040			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

太田市都市政策部下水道課が担当となって、事後評価を行う。

事後評価の実施時期

令和6年度

公表の方法

市のホームページにて公表

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

下水道処理人口普及率の向上により、生活環境の改善及び公共用水域への汚濁負荷量削減が図られ、河川等の水質改善に寄与した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

下水道処理人口普及率及び汚水処理人口普及率概成に向けて、早期に目標が達成できるよう取り組みを継続していく。

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道を利用できる人口（人） / 総人口（人）	
	最終目標値	50%
	最終実績値	48%
2	汚水処理施設を利用できる人口（人） / 総人口（人）	
	最終目標値	93%
	最終実績値	88%